



県道熊本高森線



神社倒壊

西原村の取組 ～地域コミュニティと防災～



星田地区山腹崩壊



風当地区公民館



熊本県西原村

阿蘇外輪山の西に位置し、東西約9 km 南北8.5 km 総面積77.22 km²で、「水と緑とひかりの村」をキャッチフレーズに、発展と人口増加を続けていました。

平成27年には経済指標ランキング（農業や製造業、村の財政力など8部門評価）で「競争力の強い村」として日本一の評価を得ました。

人口は6,750人（H29.8月末現在）

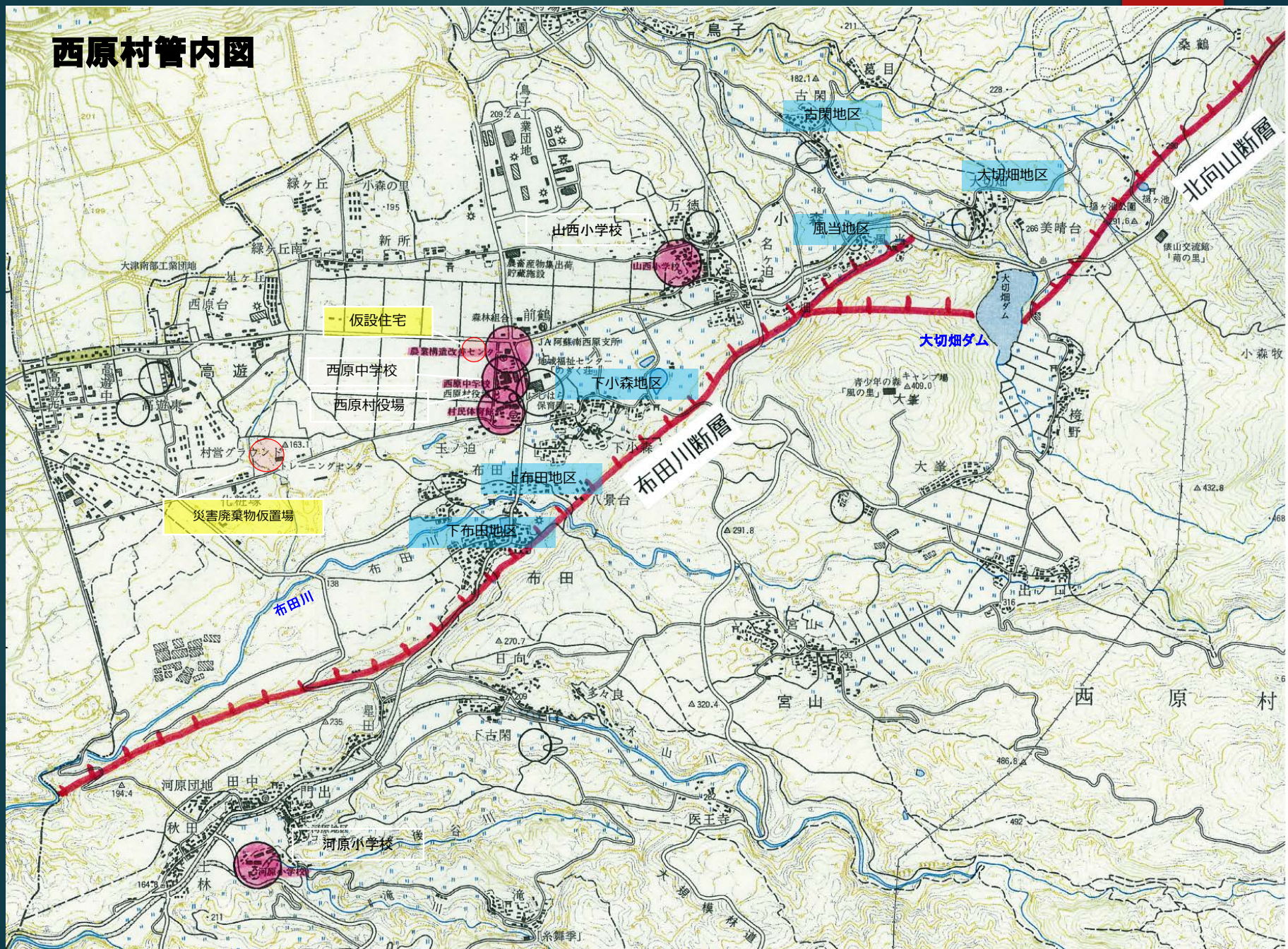
県庁まで25分

熊本市中心部まで40分

東京まで90分

※阿蘇くまもと空港まで5分

西原村管内図



【地震及び被害等の概要：西原村】

- ・ 4月14日（木） 21時26分 M6.5 震度6弱
- ・ 4月16日（土） 1時25分 M7.3 震度7

■ 被害の状況 （8/31 時点集計）

◇ 人的被害

死者 8名（震災関連死 3名含む）

負傷者 56名（内重傷者18名）

◇ 家屋・建物被害

村内2,471棟の内、1,376棟（55.7%）が全半壊

全壊 512棟（20.7%） 大規模半壊 201棟（8.1%）

半壊 663棟（26.8%） 一部損壊 1,095棟（44.3%）

大切畑地区 全景



34棟中30棟が全壊

(26世帯)

集落全体の88%が全壊で半壊以上も含めると94%の住家が被災した。住家の下敷きとなった9名を消防団員と地域の方々が3時間以内に救出。

他にも半壊以上の被災をした住家が5割以上となった地区が34/46地区あった。

■ 西原村発災対応型防災訓練

【概要】

地域住民の防災意識向上と、地域コミュニティの災害時連携を確立することを目的とした全住民参加型による防災訓練。村と消防団の共催により、2年に1回実施している。

【基本想定】

- ・前日までの大雨により地盤が脆弱な状態
- ・布田川断層を震源とする、M7.0の地震が発生し、阿蘇地域の各地で震度6弱～6強を観測
- ・複数箇所では被害が発生（火災、土砂災害、孤立集落、家屋倒壊 等）

熊本県・阿蘇地域防災訓練

西原村発災対応型防災訓練

平成 27 年 8 月 30 日 (日) 午前 8 時 30 分
訓練地震発生!! 場所：西原村全域

今回の訓練は、熊本県が行う「熊本県・阿蘇地域防災訓練」に併せて実施するもので、阿蘇都市7市町村が同じ時間帯で、同じ想定のもと訓練を行います。

(想定)

平成 27 年 8 月 30 日 (日) 午前 8 時 30 分、布田川断層帯を震源とするマグニチュード 7.0 の地震が発生。前日までの大雨により地盤が弱くなっていたことから、土砂災害が多数発生している。

●当日の流れ

地震発生! (防災無線で訓練地震発生
の放送を流します)



各自机の下に潜るなど身を守る行動



揺れが収まったらそれぞれ指定
された場所に避難



各避難所で消火訓練・救命救護訓練
(訓練内容は集落ごとに各区長、消防団で
計画されます。それぞれ指定された場所
に避難し、訓練を行ってください)



※当日は、西原中学校のグラウンドで、起震車による地震体験、救助犬による倒壊家屋救出訓練なども予定しています。各集落の訓練が終わりましたら、ぜひ足をお運びください。

消火訓練(下古閑地区)



消火訓練(星田地区)



炊き出し訓練(医王寺地区)



毛布担架づくり(下小森・前鶴地区)



孤立集落対策訓練



炊き出し訓練



起震車体験



救命救護訓練



倒壊家屋救出訓練 (平成27年8月30日実施)



余震が続く中での救出作業は、二次災害の危険を回避する為、屋根を開け建物の中に入る。

平成15年度から隔年で実施している
発災対応型防災訓練
(平成27年度実施の様子)



大切畑地区 人命救助（救出箇所）



布田地区 人命救助（救出箇所）



実際に消防団や地域住民で人命救助が行われた。（地域コミュニティ＝共助）

平成29年度 西原村発災型防災訓練

平成29年5月28日、地震後初めてとなる西原村発災型防災訓練を行った。



村民2442人が参加。各地区指定の避難所に避難し、人員報告を行った後、オプション訓練として各地区で消火器の取り扱い訓練や、土嚢作りなどが行われた。



まとめ

TDA・・・共通の目標に対して関係するステークホルダーが協働して取り組むことで、個々が持つ力の限界を超える効果をもたらす解決アプローチ。

基礎自治体の役割 住民と行政の協働

一例として・・・

村主催のイベント(発災対応型防災訓練、村民球技大会、道路品評会...etc)に、住民が積極的に参加することで、多くの利益となる。

(イベント自体の成果、コミュニティの強化...etc)

熊本地震では・・・

消防団を中心とした住民による救助活動、情報収集、伝達
避難者自らによる避難所運営 ...etc

→日常で培われた地域コミュニティのおかげ

地域コミュニティ = 防災力